



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第444号

2020年2月25日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 米本団地からも小学校をなくす新たな攻撃

3月市議会に「令和4年4月までに現阿蘇中学校の位置に施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）が開校できるよう強く要望する」との請願が出されました。請願者は「阿蘇・米本地域4校PTA連絡協議会」です。連絡協議会は阿蘇小、米本小、米本南小、阿蘇中学校4校のPTA役員で構成され、PTAの連絡調整を行う機関です。

今回の請願は役員だけで決めたものです。各学校の保護者みんなの声を聞くこともなく、また意見をまとめたのでもありません。PTAの民主的手続きを経ない請願のやり方は大きな問題があります。この請願は、「米本団地に小学校を残す」とした、昨年2月の市と教育委員会の決定をも覆す住民不在の暴挙と言わざるを得ません。

## 保護者や住民の総意を反映しない「請願」

2014年（H26）に教育委員会が「阿蘇・米本地域の小学校の統廃合計画」の説明を始めてから、阿蘇地域の住民は「阿蘇小をなくすな」と反対してきました。

2016年には、突如「阿蘇中学校に4校統合の小中一貫校」に変更すると方針転換、すぐに米本団地の住民は「団地の小学校をなくすな」と反対しました。住民の声に押されて、2019年新たに「施設分離型の小中一貫校」へと方針を変えてきたのです。

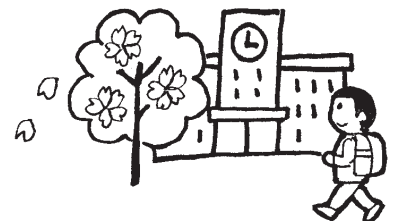
しかし、この方針も地域の住民と保護者に不安を与え、納得していません。そもそも今回のPTAの役員の請願は、これまでの保護者や地域の願いを汲んだものではありません。

服部市長は「住民が納得できないことは行なうべきではない」という信念で対処すべきです。

## 地域に貢献する学校づくり、まちづくりを

阿蘇小学校は児童数が増え、教室を増やすことが住民の切実な願いであり、教室増を求める署名が取り組まれています。さらに、米本団地に小学校がなくなれば、子育て世代が越してくることもなくなり、ますます高齢化が進み地域が衰退してしまいます。だからこそ、八千代市議会は全会一致で、子育てしやすい米本団地の再生を求める決議を可決しているのです。

米本・阿蘇地域で公共施設統廃合の名目で「小中一貫校」を許せば、市内の他の地域に波及することは避けられません。地域の活力を奪い、コミュニティを破壊する「小中一貫校」を止め、地域の発展につながる学校づくり、まちづくりをすべきです。



「米本団地から小学校をなくすな！児童数の増に阿蘇小学校の増築を！」